



第 52 号
 令和 2 年 3 月 31 日
 発行 所
 高山村老人クラブ連合会
 編集 教 養 部
 題 字 勝 山 一 男
 印刷 所
 株式会社 オフセット



令和元年度研修旅行 静岡県大井川鉄道 SL 前にて

議会活性化・ 老人クラブ会員増強について

高山村議会議長 松本 茂

現在、高山村議会は、12名の定数に対して1名の欠員で議会活動を行っている状態で、2期連続無投票当選となりましたが、この状態は全国的な現象で高山村だけではありません。

昔は、議員は名誉職として地区推薦で選挙に立候補して頂いていましたが、議員報酬だけで生活するのは難しい等の理由で、会社を定年退職された方が議員になれるケースが増えています。

今般、議員のみならず、区の役員や老人クラブの役員の引き受け手がなかなか見つからず、大きな集落の老人クラブが相次いで脱退や解散に追い込まれました。過日、老人クラブ連合会と議会民生産建常任委員会による懇談会が開催されましたが、ここでも、会員を獲得するための方策について、活発な

意見が制限時間を超えて交わされました。村組織として、また老人クラブとして成り立つためには人を集めなくてはなりません。加入促進運動を展開し、4支部の入会にこぎつけた老人クラブに敬意を表しつつ、議会に興味を持って頂くことを目的に、議会報充実のため6名にモニター委嘱の他、女性の社会進出を促す意義からも、老人クラブとの共通の課題である、女性に参加していただくための環境整備を整えて行きたいと思っております。

老人クラブの皆様には、懇談会を通じ、お互いの共通する課題が良く理解できたことに深く感謝申し上げます。老人クラブ連合会のますますの発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、挨拶といたします。

上高井郡老連

「囲碁ボール」交流会

12月2日に小布施町の老人福祉センター「桃源荘」に於いて、高山16名、小布施22名が参加して開催されました。

マス目に向かってステイックでボールを打ち、五目並べのようにはボールを並べると良いのですが、そう簡単にはいかないのです。せつかく良いところに出さなくても、相手がいるので出さずしてしまいます。

また、年を取ると足腰や体全体を安定させていられなくなり、どんな競技も思うようにはいかないのだとつくづく感じました。それでも大声で笑ったり、みんな楽しそうでした。

競技終了後の懇親会もこの盛り上がりは続き、一段と親交を深める事ができました。



微妙な判断を迫られる熱い戦い

第2回 輪投げ大会開催



なかなか入らない藤沢会長

1月21日(火)、昨年引き続き第2回高山老連輪投げ大会を開催し、選手40人による熱戦が繰り広げられました。

子どもから高齢者まで楽しめる輪投げですが、正式なルールに従って競技した人は少ないため、冒頭体育部長が分りやすく説明し、2、3回練習

した後に競技を開始しました。緊張の為か初回は得点が伸びない人が多く、中には一つも入らない人も。それでも回を重ねるごとに高得点が出はじめ、3つ並べを4列作った方が見事個人優勝に輝きました。競技後の懇親会では成績発表が行われ、上位入賞にびっくりにしながらも、周りや祝杯を揚げる姿も見られました。「とっても楽しいので、もっと回数を増やしてほしい」などの声も聞かれ、次につながる大会となりました。



喜びの優勝賞品授与

黒部はのろしサロン会

黒部長寿はつらつサロン会は、体操やゲームなどを取り入れたサロン活動をベースに、1月は新年会、夏には、育成会の子どもたちとゲートボールで交流。その後会員が持ち寄りのお菓子や



黒部のどりー夢で行った新年会

ジュース、コーヒーなどを一緒に飲みながら、会員も童心に戻って子どもたちと楽しく、会話に花を咲かせます。また、秋には奉仕の日に合わせて清掃などのボランティア活動をし、ご苦労会を兼ねてサロン会を開くなど、季節に応じて変化を付けています。長寿はつらつサロン会の名のごとく、会員同士が助け合っ

新年役員会開催

1月15日、16日、湯田中温泉にて新年役員会を開催。このところ毎年のように続く異常気象は、二〇二〇年東京オリンピックの年も例外なく、かつてない暖冬で周りにはまったく雪が見当たらない。そんな景色の中を、老連会長の運動するマイクロボスで旅館に向かう。

到着早々会議を行い、次期役員改選に向けての課題と年度末までの事業の確認、及び小布施老連と合同で、東京方面の日帰り旅行を実施することを決定。一旦解散し、温泉でさっぱりした後はお楽しみの新年会に。カニや寿司、その他いろいろな

社会奉仕の日

9月20日は、全国一斉老人クラブ「社会奉仕の日」に制定されていて、高山村老連でも地域の実情に合わせて、支部毎に奉仕活動を行いました。



久保老盛会の奉仕活動

料理が食べ放題でアルコールも飲み放題。大いに盛り上がり、最後は楯形の小林邦英さんのお看で「北信流」を行ったが、見事な謡に会場に居合わせた一般客からも一斉に拍手が起こった。三月までの奮闘を誓っての楽しい新年役員会となった。



謡の先生 小林邦英氏

秋・冬 ゲートボール大会開催

令和に変わった今年度も、9月24日、26日にかけての秋季大会と、2月17日、20日にかけての冬季大会の、2つのゲートボール大会を開催。それぞれ15チームが参加して熱戦が繰り広げられました。結果は次の通りです。



接戦で指示にも力が入る

- 秋季大会
 - 優勝 天蔵
 - 準優勝 久保B
 - 3位 宮関B
- 冬季大会
 - 優勝 久保A
 - 準優勝 宮関B
 - 3位 紫

富士山堪能静岡の旅

中原ふれあいクラブ
夏目 花子

早朝6時、参加者47名、満席のバスの旅の始まり。最初の見学地は富士山世界遺産センター。逆さ富士を模った建物は、池に映ると富士山の形に。中はらせん状の薄暗いスロープで、富士登山を体感できるよう



最上階から見る富士山

高山老連研修旅行

紫寿会 須加尾 正男

11月7日、朝4時30分起床。こんなに早起きするのは潮干狩り以来だ。早めに乗車場所へ行き予定時刻にはバスに乗車。須坂長野東インターから高速に乗り、最初の目的地「富士山世界遺産センター」に到着。逆さ富士の形をした建物の中を見学しながら屋



富士山世界遺産センター

風景のパネルを配置。登り切ると雪化粧をした本物の富士山が現れ、思わず感動の世界に引き込まれました。

朝食のあと日本平夢テラスへ。到着するとあたりは外国の人でいっぱい。不思議に思い清水港に目をやると大きな豪華客船が。にぎやかなのも納得。上から富士山と駿河湾を眺望。これまた感動の世界。すばらしい眺めでした。

わさび工場を見学後「焼津黒潮温泉」へ。小高い山の上に建つ五つ星のホテルは全室オーシャンビュー。真っ赤な夕陽を眺めた後は宴会場へ。テーブルには一人ひとりに舟



豪華な料理で盛大な宴会

上まで上がり、富士山をバックに記念撮影をする。途中で昼食を取った後、「日本平夢テラス」へ。富士山と駿河湾の眺望を楽しんでからわさび工場の見学をし、宿泊の焼津黒潮温泉には少し早目に到着。

盛りをはじめとした豪華な料理が並んで、「始めの30分は料理を頂くように」との会長のあいさつもあり、じつくり味わうことができました。その後は飲むほどに歌うほどに楽しい宴会となりました。

二日目は、海から上る太陽を目に焼き付けお茶工場へ。見学後、ギネス認定木造歩道橋「蓬萊橋」へ。長さは897.4m(厄無し)で、快晴の中縁

の目的地は、「焼津さかなセンター」。昼食をとってから買い物をする。とにかく大きな建物で全部を見て回るには半日もかかりそうなほど。バスのトランクもおみやげでいっぱいになった。



世界一長い木造歩道橋を体感

宴会の時間までくつろいでから会場に行くと、さすがに五つ星の宿、目の前に並んだ料理の豪華さに驚いてしまった。飲んだり食べたり歌ったりと、楽しい宴会だった。翌日はお茶工場の見学から始まり、ギネスにも認定された世界一長い木造歩道橋へ。とにかく長い、渡り始めたが途中で引き返してしまっ

起の良い橋を途中まで歩いてみました。

次は大井川鉄道SLに乗車。ユニークな車内案内を聞きながら昔懐かしい修学旅行気分を楽しみました。



発車前 SL に見入る参加者

最後は海産物のお買物。バスの荷室はあつという間にいっぱい。ベテランガイドさん、安全に運行していただいた運転手さんに感謝しながら、楽しい旅となりました。



映画に使われたレトロな客車

焼津インターから高速に乗り一路高山村へ。予定通りの時間に帰宅。実りのある研修旅行だった。

村議会議員との懇談会



熱心な意見交換となった懇談会

2月7日、村議会民生産建常任委員会と老連の懇談会が開催されました。

議会側は、西條民生産建委員長、西原副委員長と松本議会議長が参加。老人クラブ側は本部役員と女性部。また、役場と社協から、宮川村民生活課長、荒井議事事務局長、牧社協事務局長にもご参加いただきました。

高山老連の会員増強への取組は、議会の定数割れからの脱却を図る取組とも通じるものがあり、特に女性の参加については、互いに大きな課題となっていることも浮き彫りになりました。

一方、老人クラブの活動は高齢者の介護予防にもつながるため、介護保険制度を維持するための、重要な役割を担っていることも確認することが出来ました。

高山村老人クラブ連合会では会員を募集しています

会員になり、生き生きとしたシニアライフ（高齢期の生活）を実現しましょう

- ①地域に新しい仲間ができます。
- ②体力の維持・健康の増進になります。
- ③知識や経験を生かし、新しい能力の発揮ができます。
- ④社会活動への参画と貢献ができます。
- ⑤心の安らぎや充実感が得られます。

9月			8月			7月		6月			5月				4月																															
25	24~26	20	18	31~9/1	26	19	5	19	5	24	20	6	27	23	17	8	17	10	10																											
老連便り第51号発行			第20回秋季ゲートボール大会			社会奉仕の日		県老連マレットゴルフ大会			上高井郡老連総会・交流会			第21回マレットゴルフ大会				第26回寿ゲートボール大会			理事会・教養部会・防犯教室		花いっぱい運動審査会		県老連女性指導者研修会		県老連ブロック研修会		上高井郡老連役員会		シルバー人材交流マレット		第1回囲碁ボール大会		花いっぱい運動苗配布		第59回定期総会		監事・正副会長会		皇居参観旅行		役員会（理事・女性部）		正副会長会	



1月	12月	11月	7月	6月	5月
10	7	21	13	4	26
世代間交流事業（ふる玉づくり）		差別をなくす村民集会		独り暮らし高齢者料理教室	
独り暮らし高齢者料理教室		青少年健全育成推進大会		世代間交流事業（七夕飾り作り）	
部活解散人権政策確立要求		須高地区大会		令和元年度村等の要請により参加した事業	

3月			2月				1月			12月	11月		10月																				
31	31	23	10	19	17~20	7	21	15~16	9	11	2	27	7~8	23																			
引継会			老連便り第52号発行				理事会			決算監査会		議事との懇談会		第24回冬季ゲートボール大会		教養部会・正副会長会		新年役員会		第2回輪投げ大会		正副会長会・教養部会		県老連代表者会議		上高井老連囲碁ボール交流会		監事・正副会長会		研修旅行（静岡県大井川鉄道）		花苗の配布	

令和元年度 高山村老人クラブ連合会決算書

収入金額 1,389,109円
 支出金額 996,883円
 差引残額 392,226円 (次年度へ繰り越し)

●収入の部 (単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	説明
分担金	160,000	151,500	△8,500	303人×500円
助成金	580,000	580,280	280	村・社協からの助成金
特別分担金	190,000	264,400	74,400	総会、各大会参加費
繰越金	319,844	319,844	0	前年度より
雑収入	30,156	73,085	42,929	祝儀、幹旋物資手数料
合計	1,280,000	1,389,109	109,109	

●支出の部 (単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	説明
総会費	110,000	115,160	5,160	総会費用
会議費	80,000	71,511	△8,489	役員会、理事会、他
手当	61,000	61,000	0	役員手当
旅費	25,000	0	△25,000	台風19号災害の為県大会中止
研修費	140,000	77,958	△62,042	郡老連総会、郡交流会、新年役員会
需用費	20,000	11,532	△8,468	事務通信費、ファイル、封筒
社会奉仕費	15,000	15,804	804	花いっぱい運動諸費用
福祉費	5,000	0	△5,000	
旅行費	65,000	51,874	△13,126	研修旅行、皇居参観助成
体育費	200,000	221,066	21,066	各大会賞品・スポーツ交流会費
女性部費	10,000	2,800	△7,200	県老連女性部研修会参加費
教養部費	150,000	149,610	△390	会報編集、印刷代
支部活動費	60,000	60,000	0	各支部へ助成
加入促進費	180,000	86,260	△93,740	各支部へ助成、須高新聞広告
育成費	60,000	36,000	△24,000	旅行多数参加、長寿サロン、助成
負担金	30,000	26,308	△3,692	県老連負担金
雑費	10,000	7,000	△3,000	祝儀、御礼他
予備費	59,000	3,000	△56,000	賀詞交歓会3名参加費
合計	1,280,000	996,883	△283,117	

編集後記

異例の暖冬に加え、新型コロナウイルスのニューズで、予想外の年初めとなりました。私たちが教養部員は、慣れない中編集に携わって来ました。役員改選にあたり寄稿していただいた方々に感謝申し上げます。

(編集委員)

- 戸田 富雄
- 須加尾正男
- 小林 邦英
- 湯本 眞也
- 内山 博
- 真島 武雄